

さまざまな音源を楽しめる ネットオーディオ時代の ミドルクラスコンポ

ネットオーディオの手法は、これまでは“試してみたい”ものだったが、すっかり市民権を得て、実用段階に入ってきているといえる。パイオニアのミドルクラス・オーディオコンポにUSBオーディオ再生機能がついたり、DSDディスク再生機能がついているのもさりげない計らいだ。音作り面でもパイオニアの新しいチャレンジが感じられる、このSACD/CDプレーヤーとプリメインアンプの組み合わせに注目したい。

DSDディスク対応SACD/CDプレーヤー
PIONEER PD-70 ¥94,000

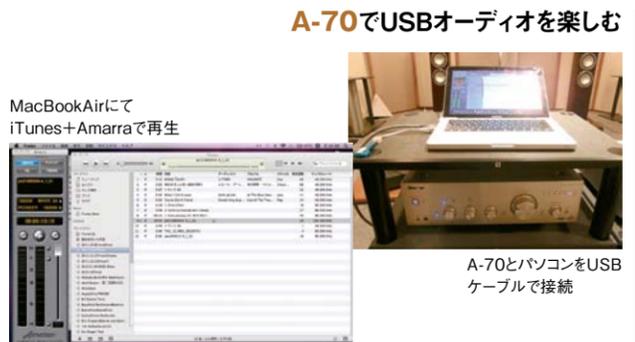
USB DAC搭載プリメインアンプ
PIONEER A-70 ¥177,000

USB入力
最大サンプリング周波数/bit数
▶ 192kHz/32bit

PD-70とA-70の組み合わせで楽しめる音源
SACD、CD、CD-R/RW、DVD-R/RWなどのデータディスク、データ音源(USBオーディオ接続)、iPhone&iPadデジタル、アナログレコード(フォノ接続)etc...



A-70の背面
PD-70の背面



MacBookAirにてiTunes+Amarraで再生
A-70とパソコンをUSBケーブルで接続

それぞれの音の傾向
【A-70】S/N感が良く、端正でストレートに音を出してくる製品だ。特に、中高音域の音像の輪郭を積極的に描いてくる点や、低域の駆動力、低音の押し出しの強さなど、同ブランドの新しい音を感じさせてくれる。
【PD-70】シャーシやメカドライブ、そして電源部など、趣味の領域に求められるオーディオの基本性能を徹底的に攻め、その上に正確で音楽的な表現を持たせたデジタルプレーヤーだ。色彩感や音の肉づきもいい。



A-70は3分割シャーシ構造。クラスDアンプながらフルサイズコンポとし、音質のためにパーツ類をフラットに配置



パソコンでのAudioGate v2.2.1を使用し、「EXPORT」よりDSDディスクを作成。「ディスク形式」は「DSDディスク」を選択。ディスクが焼けたらA-70で普通にディスク再生すればOK

PD-70でDSDディスクを楽しむ



Text by
鈴木 裕
Suzuki Yutaka
Photo by
田代法生
(メインPhoto)

パイオニア渾身の 新しい音が体験できる

プリメインアンプA-70とデジタルプレーヤーPD-70はパイオニアの新しい音を持った製品だ。それぞれの入念な造りとそれらを組み合わせた音を紹介したい。
まずA-70はボディやフレーム構造の造り方から、採用しているパーツまで徹底的にこだわっている。内部は3分割され、フロントパネルから見て左側に電源部、右側にプリアンプ部、中央部にパワーアンプ部という配置にして各ブロック間のノイズ干渉を抑制している。パワー部とプリ部にはそれぞれ独立した電源トランスを搭載している。電源系の流れと信号系の流れを最適化することで、配線自体を短くしたり、干渉を防いでいるのが合理的だ。パワーアンプ部はエネルギー変換効率に優れたクラスDアンプを新開発。小型で発熱の少ない出力素子のおかげで今回のレイアウトが可能になった。USB入力を持つっており、DACはESS社製「SABRE32」を採用。パーツ選

択にも気を使っている。

一方、デジタルプレーヤーPD-70はSACDやCDはもちろん、USBメモリーやiPhone系の再生に加え、DSDディスク(拡張子はdsf)にも対応しているのが大きな特徴だ。造りとしてはSACDやCDを正確に読み取るためにドライブ部に力を入れている。PC用としてCD/DVDドライブの分野でも高い評価を得ているパイオニアだが、これまでの蓄積をさらに展開して、ピックアップやトラバースメカも自社で開発。自社製のSACD/CDドライブメカを搭載している。他にもアナログ部とデジタル部の電源を完全分離させたツイン電源トランスや、ハニカムボトムシャーシとアルミフレームで構成されたりジッドアンダーベースの採用など、オーディオの基本に則った入念な造りだ。
まず、A-70とパソコンをUSBケーブルで接続。透明感の高い、端正なトーンだ。低域の駆動力が強く、輪郭のはっきりとした

低音を聴かせてくれる。音場は左右のスピーカー間にとまる方向性で音像が明確に立つ。以前の同ブランドのしなやかで透明感のある音から一歩踏み出し、より積極的に聴かせてくる方向の音になった。

続いてPD-70から再生すると、CDでもSACDでも表現に余裕があり、音色的な深みや滑らかさを感じさせる。S/N感が良く、元のソフトに入っている情報を色づけすることなく、鮮度感高く聴かせてくれる。SACDで聴く大編成のオーケストラの、ダイナミックレンジの広さや低域の力感など、メカドライブ部の充実ぶりとアンプの駆動力の相乗効果を感じた。コルグのAudioGate v2.2.1で作ったDSDディスクを再生すると、DSDらしいしなやかさや空気感が聴けて楽しかった。ミドルクラスのコンポで、iPhoneなどのデジタルリンクに対応し、MM/MCのフォノイコライザーまで搭載しているA-70。幅広い光学系ディスクをかけられるPD-70。メディアの多様な時代に対応した、高イクオリティを持った製品である。

Specifications

【PD-70】●再生可能メディア(フォーマット):音楽CD、SACD、CD-R/RW(MP3、MPEG4 AAC、WMA)、DVD-R/RW(DSD、MP3、MPEG4 AAC、WMA) ●フロントUSB:iPod/iPhone/iPad、USBメモリー(MP3、MPEG4 AAC、WMA)に対応 ●周波数特性:CD 2Hz~20kHz、SACD 2Hz~50kHz ●出力端子:アナログRCA×1、光デジタル×1、同軸デジタル×1 ●入力端子:光デジタル×1、同軸デジタル×1 ●サイズ:435W×128H×329Dmm ●質量:7.8kg
【A-70】●定格出力(両チャンネル駆動):90W+90W(20Hz~20kHz、THD 0.5%、4Ω)、65W+65W(20Hz~20kHz、THD 0.5%、8Ω) ●スピーカー対応インピーダンス(スピーカー端子2系統):4Ω~16Ω(AorB)、8Ω~32Ω(A+B)、4Ω~16Ω(バイワイヤリング) ●USB DAC:アシンクロナス伝送、192kHz/32bitまでに対応 ●入力端子:アナログRCA×6系統(MM/MCフォノ含む)、同軸デジタル入力×1、USB-B×1 ●出力端子:アナログRCA×1、ヘッドフォン出力×1 ●サイズ:435W×141.5H×361.5Dmm ●質量:18.2kg ●取り扱い:パイオニア様